



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Oowa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850 Jspan
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Jacob Kristensen(デンマーク)
 価値観、エクステンション、リーダーシップ
- アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)
 変化をもたらそう
- 西日本区理事 古田裕和(京都トウビー)
 Let's do it now!
 "2022 に向け誇りを持って All is well"
- 六甲部部长 安行英文(さんだクラブ)
 行動に信念を、信念は行動に
 Believe in what you do. Do what you believe.
- 芦屋クラブ会長 大岩雅典
 無理せず、現状を理解し、クラブ運営を行う

今月の聖句

イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。
 (マルコ福音書4章39節)

5月第1例会

と き: 2021年5月19 日(水) 18:30~20:00
 と ころ: リモート ZOOM 会議
 司 会: 坂本担当主事

1. 開会点鐘 大岩雅典会長
2. クラブソング 斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. 食前感謝 上野恭男ワイズ
5. 芦屋ワイズメンバーで、相互親睦ネット食事会
 (各自、自宅にて自由に食事)
6. コロナあれこれ 雑談と全員座談会
7. 事務報告 大岩雅典会長
8. 各事業委員報告 クラブ事業委員
9. YMCA報告 坂本担当主事
10. 誕生日祝い 大岩雅典会長
 4月 大岩雅典・島田 恒・福原吉孝(各ワイズ)
 大岩恵美・崔和子(各メネット)
 5月 権甲植ワイズ・大澤昌子・菅原順子(各メネット)
11. 閉会点鐘 大岩雅典会長

- 会 長 大岩雅典
 直前会長 島田 恒
 副 会 長 菅原 進・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 連絡主事 坂本孝司
 六甲部CS主査 島田 恒

5

May, 2021
 287 号

交流



会長 大岩雅典
 交流について、諸先輩方がいろいろ知恵を絞って、交流を行ってこられました。IBC、DBC、そのほかにも音楽の繋がりや、アカデミーの繋がり、時には事業交流も、理事通信やブリテンを読み返すだけでも、当時の息遣いが、生きいきと伝わってきます。活発に行き来し、いろんな事業でふれあい、親睦を育んできました。やはりネットではなく実際にお会いして、裏話など生々しくお伺いすることで理解が深まります。皆で力を合わせ今のこの状態を終結させまた、楽しい交流が再開できる日が楽しみです。この感染症の状況、逆手にとってビデオレターや、ネット飲食会で凌いでいます。これはこれで、楽しいこともありますので、タダでは起きないという意味では意義あることだと感じます。私個人的には京都のワイズの方々と、ビデオレターの作成でお会いでき、ビデオの編集の中で、スピーカー方の本当に伝えたかったことに触れ、ワイズダムの意義を深く感じ取れることができました。皆様は、ビデオレターご覧になられて何か感じ取っていただけたなら幸いです。またご感想などお聞かせください。もうちょっとの辛抱です。青空の下、チヂミを焼いたり、桜を愛でたり、交流会で歓談したりできる日が必ず帰ってくることはわかっていますが、待ち遠しい気持ち心が逸らせます。

4月例会(リモート)集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手	
メンバー	10名	出席者	10名	累計	gm
ビジター	名	メイクアップ	1名		
ゲスト	名	合計	11名		
メネット	名	在籍者	18名	ニコニコ	
コメント	名	(内広義会員1名)		0円	
合計	10名	出席率	%	累計	81,891円

4月第1例会報告

日時：2021年4月21日(水) 18:30~20:00

場所：自宅(ZOOM 例会) (敬称略)

出席者：大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、中山、羽太、浜瀬、山口(各ワイズ)、坂本担当主事

4月第1例会は、当初、芦屋竹園での通常例会の予定でしたが、コロナ緊急事態宣言により、急遽 ZOOM 例会となりました。度重なる予約、直前での取り消しと毎回担当の方には、大変なご苦労であると思います。

当日 18 時 30 分からの開催予定でしたが、急な、ZOOM 例会となったため、少し遅れての開催となりました。まだまだ、慣れない ZOOM 例会、なかなかつながりにくい状態でした。

大岩会長の、奮闘ぶりには感謝の一言に尽きます。

皆様の全員参加とならず、時間が過ぎ見切り開始となり残念に思いました。



皆さまとは直接お会いしての例会とはなりませんでした。それでもマスクなしの久しぶりの笑顔にお会いでき、又、クラブソングも大きな声で、の合唱となりました。

大岩会長の開会点鐘で始まり、羽太ワイズの今月の聖書朗読奨励が、なされました。

今回、開会点鐘とは、目覚ましの鐘で、その後クラブソングを合唱することはクラブ員のお互いの存在感を、確かめるものであるということを知りました。

その後、WEB 例会でしたので、ネット飲食会形式となりましたが、やはり食事しながらの例会とは、難しいものです。

そして京都パレスクラブ大野義宏元日本区理事のビデオレターによるゲストスピーチ(ラオス、EMC のお話)が、始まりました。日本において、ロータリークラブの会員数約 120 万人、ライオンズクラブ会員数約 150 万人、ワイズメンクラブ会員数約 3 万人という実情で、社会奉仕クラブの原点は、共通しているのに、なぜ各クラブとこの会員数の差があるのかということと話されました。

ワイズメンクラブは、キリスト教の道德教育にもとずき、毎月例会を続けて、皆の力を蓄えて、世の中に奉仕するということをして続けて行くことが、とても大事なことで話されました。

各事業委員会報告では、羽太メンよりみどり作業所の基金についての報告がありました。

YMCA 報告は、坂本担当主事から、4月に専門学校の入学式が行われたこと、日本語学科の学生は、減少していますが、今年はベトナム、カンボジアからの学生が、入学する予定であることなどの報告がありました。

窓の外は大雨、この ZOOM 例会で、自宅から皆様と WEB で談笑できることは、コロナ禍、人類の知恵は、限りなく発展していくものだと感じました。

浜瀬 真知子

『魅せられて』IV

◆4月11日。クラブハウスに万国旗がなびき、コースには見事なアザレアが咲き誇る米国・ジョージア州【オーガスタ・ナショナルGC】。4日間の【2021/第85回マスターズ・トーナメント】が終わった。そしてドラマが起こった。東北福祉大ゴルフ部2年の時・学生アマでマスターズに招待されローアマチュア(アマチュアでの最高位)を獲得してから苦節10年。【マスターズ優勝】の大きな夢を追い続けて来た29才の青年がグリーン・ジャケットを着ている。信じられない。TV放送席でのアナウンサーとマスターズ体験者である解説者2人が数秒間絶句して、その後大声で泣いている。◆【松山英樹選手】がアジア人で初めてのビッグタイトル手にした瞬間である。ニュースは世界中に流れ、同じアマチュア出身で大先輩のジャック・ニクラウス選手(米国)やウッズ選手(米国)からも又、世界的な多くのゴルフファーマスターズの面々から祝福と称賛の声が溢れている。近年の日本では大坂なおみ選手(テニス)に続いての快挙である。◆【マスターズ・トーナメント】と【オーガスタ・ナショナルGC】の創設者ボビー・ジョーンズ氏(終世アマチュアで通し4大タイトルを獲得した名選手)もこのような機会をこころ待ちにしていたに違いない。◆【日本人には出来ないだろうと思われていた事をやっとならせたと思う。】記者会見ではこの言葉が松山選手の第一声だった。しかし多くの声は彼の言動・行動・容姿など全てに於いて日常と変わらない(飾らない)「何と【謙虚】なんだろう!」と不思議がられている。◆彼はプレイ面でも寡黙で淡々と【あるがままを受け入れる】と云うゴルフの原点と常に接して来た。第2打を池に入れた場面を見ても実に冷静だった。(他の選手が感情を押さえ切れずに愛用のパターを壊した残念な話題もあったが…)この様な【松山選手】を見て、これこそ【ボビー・ジョーンズ】が愛したアマチュアリズムの真髄であるのではと思う。◆帰りの空港でグリーンジャケットを大切に傷つけないように一年間に限り彼だけが【オーガスタ・ナショナルGC】から持ち出しが出来る特別ルールがあり、翌年のマスターズ参加時に返却されその後保管される。即ちオーガスタ所有の大切な借り物なのである。空港内は腕にかけ、待ち会い室ではシワを付けない無傷に隣の椅子の背もたれに掛け…。◆帰りはプライベートジェットをチャーターせず一般人と共に…。(通常、多くの優勝者は多大な賞金を獲得して特別チャーター・ジェットを使用している。)◆彼の専属キャディ(全寮制の中・高・大学通じてのゴルフ部後輩/早藤氏・27才)が最終18番をホールアウト後ピンを元に戻し、【コースに向かって脱帽し御辞儀をした】事もメディアが素晴らしいシーンだと。そして世界中から爽やかなリスペクトを受けることに…。(我が国では甲子園では高校生が、マラソン選手がゴール後など、たまに見られる風景であるが。日本のゴルフ関係者は今後、真似るのでなく自らの意思で行う者が増えるでは……。との意見も出ている。松山選手のSCOOPは数多く次から次へと、当分は絶えないだろう。◆深夜のテレビ観戦で睡眠不足になってしまったが、未長く心に残る今回の【マスターズ】に感謝すると共にすっかり【魅せられて……。】

●追記【オーガスタではマスターズの前週に行われた【世界女子アマチュア選手権】で日本の【梶谷選手】(滝川第二高校2年生)が栄えある優勝のニュースが…。両選手に心よりエールをおくりたい。】篠坂幸彦

姫路グローバル例会「竹の子掘りとBBQ」

姫路グローバルクラブ4月例会は4月3日に開催され、竹の子狩りとBBQを楽しむとのことで芦屋クラブにお誘いがありました。大岩会長ファミリー4人と、柏原書記、桑野ワイズ、上野が参加しました。

天候は薄曇りでしたが、さわやかな気候の中、会場の新井みちるワイズ宅へ集合しました。

到着直前には狭い道路でしたが、桑野ワイズの巧みな運転で、無事に到着できました。10時30分頃、姫路グローバルの橋崎恵子会長の開会点鐘で会が始まりました。

まず、裏山での竹の子掘り開始です。ミツバチの巣が2つあり、そのわきを通って裏山に行くことになりました。竹の子を見つける者、掘る者、竹の子を回収する者と、それぞれ役割を与えられて楽しく過ごしました。今年は竹の子が不作とのことでしたが、10本余り収穫することが出来、一同満足して無事に作業終了しました。

新井ワイズ宅の前には川が流れ、庭には花桃の「源平」が白とピンクの花を咲かせて、それはそれは情緒のある環境です。我々が、竹の子掘りを楽しんでいる間にBBQの準備は整っていました。まずは乾杯し、いよいよBBQの始まりです。

ドラム缶を立て半分に切った豪快なコンロに炭をおこし、牛肉、牛タン、ソーセージ、ベーコン、様々な野菜、キノコ、などなどが焼かれて一同食べるのに懸命になります。更に裏山で取れたイノシシの肉も出てきました。猟友会メンバーが仕留めた獲物は、地主でもある新井家におすそ分けが来るのだそうです。イノシシの焼き肉をいただきましたが、とても美味しく食べられました。

そこで、大岩会長のドラムス、大岩メネットのキーボード演奏とボーカルで演奏が始まります。ポピュラーな曲に合わせて柏原ワイズ、桑野ワイズがダンスをして会場の空気は一層和やかになります。バンドはやがて交替し、姫路のミミバンドの演奏が始まります。

なんと豪華な2バンドでの演奏会。みなは満足したのではないのでしょうか。

新たに、新井ワイズのサブライズ、烏骨鶏の丸焼きが登場したのです。時間と労力をかけたその味は素晴らしく、そこでタイミング良く柏原書記差し入れのシャンパンが披露されました。ワインの一口が、実に良く合いました。4時近くなり楽しかった会も終わります。橋崎会長の閉会点鐘で閉会です。

後かたづけをして竹の子を分けて、いざ帰ることになりましたが、新井ワイズから湯がいた竹の子とワラビをお土産にいただき、感謝、感謝でした。

来年も元気であればぜひ参加したい、楽しい楽しいイベントでした。

上野恭男

地道が続く中、少し不安になり、尋ねると「ああ、新井さん家ね。突き当たりですよ」のどかなお返事。行き止まりの札に不安が横切るそこにワイズの幟が立てられていて心温まる出迎えにまず感謝。幅がギリギリの橋を渡り冷や汗が出たところがまさに新井家、白とピンクの桃の花が今を盛りと迎えてくれました。広々としたお庭には、小川が流れ蛍が舞うような。竹の子



掘り参加組は、大岩恵美メネットと子供達、上野、桑野と私、はりきっている私達のためにご用意くださったのでしょ。見事な竹林の根元

を鋤、鍬、収集袋でいざ出陣！

「ここにいます」と新井ワイズがまず見つけてくださり、次々と近場で発見！ただ、スクワットやゴルフのお歩きで鍛えた？脚では無理だと実感した体験でした。戻ってくるとお庭はBBQ会場に、真白なテーブルと椅子、大きなパラソルと豪勢な食材が並べられ、大岩会長と三宅ワイズのバンドステージも準備されていました。私たちの採りたての竹の子も豪快に炭火で焼かれ美味。マシュマロを竹串であぶりカナダのhome stayを思い出す。たっぷりの猪のお肉、お野菜など堪能いたしました。音響を気にせず野外で開かれたステージは贅沢そのもの、思わずダンスを楽しむ。「花は咲く」「アメージング・グレイス」「花水木」素晴らしい歌声に感動の涙が頬を伝う。そこで、今日の為に48時間ハーブで蒸し焼きにした丸ごとの烏骨鶏が披露され、お持ちしたボルドーの赤ワインが紹介されました。そのタイミングの素晴らしさ！上野ワイズが景気よくコルクを飛ばし一層盛り上がる。毎年、ここで開かれると伺い、さすがにおもてなしがお見事だと感心致しました。前日に湯がかれた竹の子とワラビがお土産に用意されていてなるほど！



そこで、大岩会長のドラムス、大岩メネットのキーボード演奏とボーカルで演奏が始まります。ポピュラーな曲に合わせて柏原ワイズ、桑野ワイズがダンスをして会場の空気は一層和やかになります。バンドはやがて交替し、姫路のミミバンドの演奏が始まります。



お別れの頃、新井さん家のご主人は又、おもいきり穏やかなのどかな笑顔で私たちを見送って下さいました。コロナ禍などすっかり忘れた至福のひとつにただただ感謝です。皆さま、本当に有り難うございました。 柏原佳子



姫路グローバルクラブ 橋崎会長様、三宅様 前田様

新井邸にお伺いし、環境の良いところで楽しい交流例会ライブやダンスや心のこもったBBQ、貴クラブの皆さまの愛に満ちたおもてなし感動いたしました。地球で暮らす幸せに感謝いたします。

昨日、日曜日は雨であったこともあり台所を占領し、ワインを舐めながらタケノコ料理を心行くまで楽しみました。

今日のお弁当はたけのご飯と、わかめとタケノコの煮つけです。また、電子ドラム持参し、飛び入りで参加いたしました。ありがとうございました。 芦屋クラブ 大岩雅典

聖句の読み説き

イエスは弟子たちと舟に乗って穏やかなガリラヤ湖を東に向かっていた。ところが途中で激しい突風に見舞われた。弟子たちの多くはこの湖の漁師である。何度か嵐には経験があったが、このときはちょっと様子が違った。激しい強風で小舟は翻弄され沈みそうになる。一方師のイエスはこの時舟尾で眠っておられた。彼らは一斉にイエスを起こして叫ぶ「先生、わたしたちが溺れ死んでもかまわないのですか？」プロの漁師の慌てふためきぶりにイエスは目を覚まし、押し寄せてくる波に向かってこれを叱り、『黙れ、静まれ』と声を放った。するとたちまち風はやみ湖は凪になった。そしてイエスは弟子たちに言う。『なぜ怖がるのか。まだ信じないのか』。彼らはこの時、二つの恐怖を感じた。一つは死の恐怖、二つ目は目の前にいる師に対して、「いったい、この方はどなたなのだろう。」という神的存在への恐れであった。舟旅はわたしたちの人生である。嵐に見舞われ激しく揺さぶられる時もある。不信や憎しみの思いが頭をもたげる時がある。しかしそんなとき、この舟に同乗されるイエスは「静まれ」と声を掛けられる。
(河合裕志著「イエスの言葉100選」より)

4月第2例会報告(抄)

日時: 2021年4月28日(水) 18:00~20:00

場所: リモート ZOOM 会議

出席者: 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、菅原、羽太、浜瀬、板東(各ワイズ) & 坂本担当主事

議事・報告

◇5月以降の例会運営について

★ZOOMでDBC 交流会を開く件

鎌倉C・もりおかC・熊本Cと大岩会長が連絡を取り順次開催したい(承認)

★6月 ビデオレター 京都ウエスト 森田恵三ワイズ

『ワイズ未来構想』ビデオ収録は5月下旬、森田ワイズ自宅にて、柏原書記、桑野ワイズが協力(承認)

★コロナ禍で例会場での予定が立たない為、リモート参加ゲストスピーカーや、ビデオ収録可能なゲストを提案

◇過去のZOOM例会での問題点と今後

- ・メンバーは、最低でも3日に1度パソコンを開くことを推奨
- ・画面操作は、司会者でなく 担当主事が行う
- ・接続が不慣れであるにも拘わらず、準備不足の状態で見切り発車でZOOM例会開催したため、接続ができなかったメンバーのフォローで、例会進行に遅延が発生した(当分の間、例会開催2時間前に接続リハーサルを行う)
- ・今後もスマホ・パソコンでの学びを進めて行く



◇「みどり基金」みどり作業所支援

今期(6月末)は5万円以上集まること確実となったので集まった全額を贈呈する

◇会計報告 3月会計報告を承認

羽太英樹ワイズから、事前にメールで配信されている資料を検討し、質問があれば尋ねてほしい。

◇六甲部次期メネット主査の件、五十嵐かほるメネット(体調不良)に代わり上野恭男ワイズが就任(承認)

◇YMCA報告

現状は厳しいが、留学生に関しては微々ながら上向きになっている(YMCA ニュース参照) 書記 柏原佳子

編集後記: 芦屋クラブもYMCAも頑張っていますね。他にも掲載したい原稿や写真がありました。紙面の都合で5月号完成です。 桑野友子

YMCA ニュース

■2021春余島キャンプ

新型コロナウイルス感染症が今もなお予断が許せない状況ではありながらも、スタッフ、リーダーの綿密な準備の下、春スキーキャンプに引き続き、春余島キャンプが開催されました。穏やかな春の風を感じながら子どもたちの元気な笑い声が余島に響き渡りました。



■神戸 YMCA 学院専門学校

日本語学科入学式・オリエンテーション

4月19日に、神戸 YMCA 学院専門学校日本語学科の2021年度入学式を、神戸聖愛教会にて執り行いました。新型コロナウイルス感染症の影響から入国できない学生達は、オンラインで出席をしました。また昨年10月入学の学生たちの入学式も同時に行いました。これまでにない入学式となりましたが、このような状況にもかかわらず、無事学生達を迎え入れることができました。入学式の後には、各国の通訳とともに、学校のルールの説明を行ないました。いよいよ2021年度もスタートします。



■神戸 YMCA 創立記念日礼拝

今年度の創立記念日礼拝は以下の通り、執り行います。3回目の緊急事態宣言中でもあり、様々な対応に追われ、お時間もないことと推察します。しかし、そんなときだからこそ、このメッセージを通して、神戸YMCAの創設者の方々に思いを寄せ、私たちの気持ちを一つにする機会になればと願っています。

日時: 2021年5月8日(土)14:00~15:00

メッセージ: 「一つに集めるために」

神戸キリスト教青年会(神戸 YMCA) 会長 中道基夫

聖書: マタイによる福音書 24章 29-31節

※ZOOMのよる配信です。以下のURLよりお入りください。

<https://us02web.zoom.us/j/81021319932?pwd=dUpWSG9jbFIFYxWUFIRDB6Wkhkdz09>

■こうべ市民福祉振興協会との包括連携協力締結式
しあわせの村のなかにキャンプ場があります。そこを中心とした自然環境フィールドを活用し、あらゆる子どもの成長支援及びそれに関わる人材育成の推進に関して、相互に協力し、地域の発展に寄与することを目的とするものです。この数年、ボランティアの研修をキャンプサービス担当者が行ってきたことから繋がってきたのですが、ここでも今井鎮雄さんが蒔いてくださった種を見ることができました。

■神戸 YMCA 大会 概要(第1報)

日時: 2021年6月26日(土)14時~16時

方法: オンライン形式による配信(会場の参加はありません)

内容: 2020年度の報告・2021年度の方針・計画(総会)

2020年度の報告・2021年度の方針・計画(総会)